

熊 本 大 学 泌 尿 器 科 専 門 研 修 プ ロ グ ラ ム

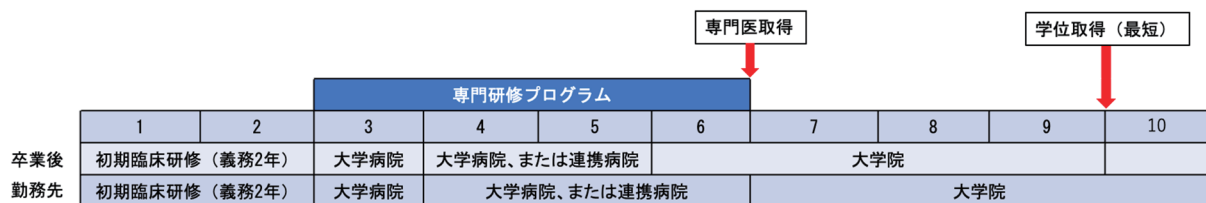
プログラムの概要・特徴と研修の目標について

- 熊本県では唯一の泌尿器科専門研修プログラムであり、熊本大学病院を基幹施設とし、熊本県全域の 14 施設（診療拠点病院 9 施設、地域中核病院 5 施設）及び兵庫医科大学病院とその関連 1 施設、宮崎大学医学部附属病院とその関連 1 施設の計 18 施設から構成されています。
- 泌尿器科専門医に必要な知識や技能の習得と同時に、地域医療との連携や他の専門医への紹介・転送の判断も的確に行える能力を身につけることができるように配慮しています。
- 募集専攻医数 8 名

研修の方略・評価について

- 泌尿器科専門医は、4 年間の研修で育成されます。
- 4 年間のうち 1～2 年間に熊本大学病院（基幹施設）で研修を行い、それ以外の 2～3 年間に研修連携施設で研修を行います。
- 原則として、初年度または 2 年目の 1 年間に熊本大学病院（基幹施設）で研修を行います。
- 熊本大学医学部地域枠を卒業された方を対象とした地域医療枠コースも設定しています。

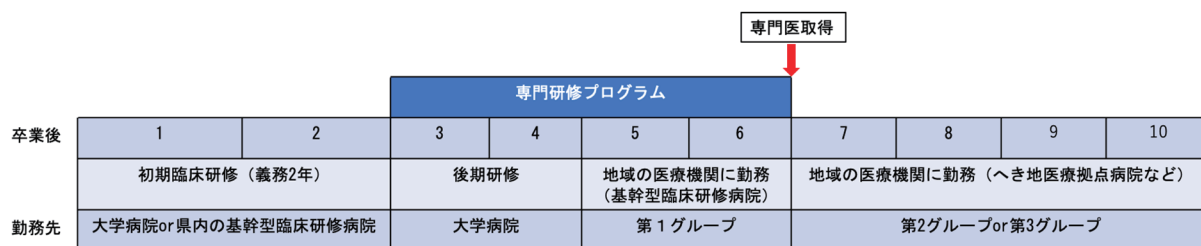
(1) 大学院進学コース



(2) 臨床修練コース



(3) 地域医療枠コース



※ 大学卒業後の一定期間、知事が指定する医療機関に勤務する必要があります。修学資金を返還免除するのに最短で9年掛かりますが、泌尿器科専門医を取得するためには、4年間大学病院あるいは基幹型臨床研修病院(第1グループ)に勤務する必要があります。現状のシステム上、1年間は義務年限に算入することができません。専門医取得後、さらに地域の医療機関(第2グループ、または第3グループ)に勤務する必要があります。返還免除となるには最短で10年掛かります。

※ 第1グループ:熊本労災病院、熊本総合病院、水俣市立総合医療センター、天草地域医療センター、くまもと県北病院など。

第2グループ:小国公立病院、公立多良木病院、上天草総合病院など。

第3グループ:宇城市民病院、済生会みすみ病院など。

※ 大学院への進学を希望する場合、その期間は義務年限に算入されません。

(4) 研修連携施設について

